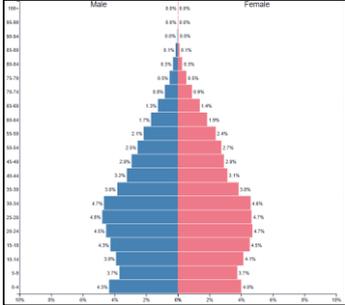




# マレーシアの概要

作成 クレアシンガポール事務所 更新日2019年6月

1. 国概要		出典	
正式名	マレーシア		
国旗	位置図		
		①	
面積	約33万平方キロメートル(日本の約0.9倍)	①	
首都	クアラルンプール	①	
人口	3,200万人(2017年マレーシア統計局) 	① ⑤	
民族	マレー系(約69%)、中国系(約23%)、インド系(約7%) (注: マレー系には中国系及びインド系を除く他民族を含む)	①	
公用語	マレー語(国語)、中国語、タミール語、英語	①	
宗教	イスラム教(連邦の宗教)(61%)、仏教(20%)、儒教・道教(1.0%)、 ヒンドゥー教(6.0%)、キリスト教(9.0%)、その他	①	
通貨(為替レート)	1リンギット=約26.6円 (2018年12月31日終値(マレーシア中央銀行))	①	
略史	15世紀初め	マラッカ王国成立	④
	16世紀～17世紀	ポルトガル、オランダ東インド会社によるマラッカ支配	
	1824年	英蘭協約によりマレー半島及びボルネオ島西北部が英国の勢力範囲下となる。イギリスによる植民地支配。	
	1942年～1945年	日本軍による占領	
	1948年	英領マラヤ連邦形成	
	1957年	マラヤ連邦独立	
	1963年	マレーシア成立(シンガポール、サバ、サラワクを加える)	
	1965年	シンガポールが分離、独立。	

政治																
政体	立憲君主制(議会制民主主義)	①														
元首	アブドゥラ第16代国王 (2019年1月就任, 任期5年, 統治者会議で互選。パハン州スルタン)	①														
議会	二院制 上院:70議席、任期3年。44名は国王任命、26名は州議会指名 下院:222議席、任期5年。直接選挙(小選挙区制)	①														
政府	首相:マハティール・ビン・モハマド(2018年5月就任) 外相:サイフディン・アブドゥッラー(2018年7月就任)	①														
地方自治制度	<p><b>連邦レベル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連邦領省 (Ministry of Federal Territories)</li> <li>住宅地方自治省 (Ministry of Housing and Local Government)</li> </ul> <p><b>州レベル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地方自治局 (Local Government Department)</li> <li>州政府 (State Government)</li> </ul> <p><b>地域レベル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連邦地域 (Federal Territory): クアララン・プール, ラブアン, プトラジャヤ</li> <li>特別市 (City Council)</li> <li>市 (Municipal Council)</li> <li>町 (District Council)</li> </ul> <p>【州政府(13州)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各州は、自治体ではなく、連邦を構成する準国家</li> <li>元首を有し、独自の州憲法を制定している。</li> </ul> <p>【連邦地域(3か所)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>首都など特別な地域を対象に連邦地域(Federal Territory)を設置</li> </ul> <p>【地域レベル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協議会の長及び委員は、州政府による任命制</li> <li>州による指導監督</li> <li>人口、歳入規模等の条件により、特別市、市、町に区分される。</li> <li>ごみ収集や道路・水路清掃、公衆衛生、公園の整備など基礎的なインフラ整備などの住民サービスを提供</li> </ul>															
経済																
主要産業	製造業(電気機器)、農林業(天然ゴム、パーム油、木材)及び鉱業(錫、原油、LNG)	①														
実質経済成長率(%)	<table border="1"> <caption>経済成長率</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>成長率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>2014</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>5.9</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>4.7</td> </tr> </tbody> </table>	年	成長率 (%)	2013	4.7	2014	6	2015	5.1	2016	4.2	2017	5.9	2018	4.7	①
年	成長率 (%)															
2013	4.7															
2014	6															
2015	5.1															
2016	4.2															
2017	5.9															
2018	4.7															
物価上昇率(%)	<table border="1"> <caption>物価上昇率</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>上昇率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>2014</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	年	上昇率 (%)	2013	2.1	2014	3.2	2015	2.1	2016	2.1	2017	3.7	2018	1	①
年	上昇率 (%)															
2013	2.1															
2014	3.2															
2015	2.1															
2016	2.1															
2017	3.7															
2018	1															

一人当たりGDP (名目、USD)	<p style="text-align: center;"><b>一人当たりGDP (名目、USD)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>一人当たりGDP (名目、USD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2013</td><td>10,705</td></tr> <tr><td>2014</td><td>11,014</td></tr> <tr><td>2015</td><td>9,516</td></tr> <tr><td>2016</td><td>9,397</td></tr> <tr><td>2017</td><td>9,833</td></tr> <tr><td>2018</td><td>10,942</td></tr> </tbody> </table>	年	一人当たりGDP (名目、USD)	2013	10,705	2014	11,014	2015	9,516	2016	9,397	2017	9,833	2018	10,942	①							
年	一人当たりGDP (名目、USD)																						
2013	10,705																						
2014	11,014																						
2015	9,516																						
2016	9,397																						
2017	9,833																						
2018	10,942																						
失業率(%)	<p style="text-align: center;"><b>失業率</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>失業率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2013</td><td>3.1</td></tr> <tr><td>2014</td><td>2.9</td></tr> <tr><td>2015</td><td>3.1</td></tr> <tr><td>2016</td><td>3.4</td></tr> <tr><td>2017</td><td>3.4</td></tr> <tr><td>2018</td><td>3.3</td></tr> </tbody> </table>	年	失業率(%)	2013	3.1	2014	2.9	2015	3.1	2016	3.4	2017	3.4	2018	3.3	①							
年	失業率(%)																						
2013	3.1																						
2014	2.9																						
2015	3.1																						
2016	3.4																						
2017	3.4																						
2018	3.3																						
総貿易額 (100万USD)	<p style="text-align: center;"><b>総貿易額</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>輸出額 (100万USD)</th> <th>輸入額 (100万USD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2013</td><td>228,450</td><td>206,001</td></tr> <tr><td>2014</td><td>234,039</td><td>208,950</td></tr> <tr><td>2015</td><td>199,248</td><td>176,089</td></tr> <tr><td>2016</td><td>189,988</td><td>168,722</td></tr> <tr><td>2017</td><td>217,827</td><td>194,843</td></tr> <tr><td>2018</td><td>247,519</td><td>217,606</td></tr> </tbody> </table>	年	輸出額 (100万USD)	輸入額 (100万USD)	2013	228,450	206,001	2014	234,039	208,950	2015	199,248	176,089	2016	189,988	168,722	2017	217,827	194,843	2018	247,519	217,606	①
年	輸出額 (100万USD)	輸入額 (100万USD)																					
2013	228,450	206,001																					
2014	234,039	208,950																					
2015	199,248	176,089																					
2016	189,988	168,722																					
2017	217,827	194,843																					
2018	247,519	217,606																					
貿易品目	<p>(1)輸出: 電気製品、パーム油、化学製品、原油・石油製品、LNG、機械・器具製品、金属製品、科学光学設備、ゴム製品等  (2)輸入: 電気製品、製造機器、化学製品、輸送機器、金属製品、原油・石油製品、鉄鋼製品、科学光学設備、食料品等</p>		①																				
主要貿易相手国	<p>(1)輸出: シンガポール・中国・米国(2017年)  (2)輸入: 中国・シンガポール・米国(2017年)</p>		①																				

2.日本とのかかわり		出典
大使館	クアラルンプール	④
大使	宮川眞喜雄(2014年3月～)	④
進出企業数	1,396社(製造業712社、非製造業684社)(2016年12月時点)	②
日系レストラン数	約800店舗(2017年現在)	⑦
日本企業の投資件数と投資額(製造業)	件数: 41件 金額: 13億1,074万リンギット(2017年1～12月)	②
在留邦人数	約24,411人(2017年10月現在)	①
留学生数	2,945人(2017年5月現在)	①

観光																							
訪日旅行者数(人)	<p style="text-align: center;"><b>訪日旅行者数</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>訪日旅行者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2013</td><td>176,521</td></tr> <tr><td>2014</td><td>249,521</td></tr> <tr><td>2015</td><td>305,447</td></tr> <tr><td>2016</td><td>394,262</td></tr> <tr><td>2017</td><td>439,548</td></tr> <tr><td>2018</td><td>468,360</td></tr> </tbody> </table>	年	訪日旅行者数(人)	2013	176,521	2014	249,521	2015	305,447	2016	394,262	2017	439,548	2018	468,360	③							
年	訪日旅行者数(人)																						
2013	176,521																						
2014	249,521																						
2015	305,447																						
2016	394,262																						
2017	439,548																						
2018	468,360																						
旅行形態	マレーシア人 : 団体(23.5%) 個人(76.5%) 外客全体 : 団体(23.8%) 個人(76.2%) (平成29年度)	③																					
貿易																							
日本との貿易(億円)	<p style="text-align: center;"><b>日本との貿易</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>日本の輸出(A)</th> <th>日本の輸入(B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2013</td><td>15,331</td><td>30,006</td></tr> <tr><td>2014</td><td>14,239</td><td>29,353</td></tr> <tr><td>2015</td><td>11,996</td><td>21,484</td></tr> <tr><td>2016</td><td>12,125</td><td>17,214</td></tr> <tr><td>2017</td><td>12,745</td><td>19,235</td></tr> <tr><td>2018</td><td>13,940</td><td>18,924</td></tr> </tbody> </table>	年	日本の輸出(A)	日本の輸入(B)	2013	15,331	30,006	2014	14,239	29,353	2015	11,996	21,484	2016	12,125	17,214	2017	12,745	19,235	2018	13,940	18,924	②
年	日本の輸出(A)	日本の輸入(B)																					
2013	15,331	30,006																					
2014	14,239	29,353																					
2015	11,996	21,484																					
2016	12,125	17,214																					
2017	12,745	19,235																					
2018	13,940	18,924																					
日本の主要輸出入品目	<p>(1)輸出 電気機器(22.8%)、一般機械(17.1%)、輸送機器(12.1%) 鉄鋼(5.8%)、プラスチック(5.1%)</p> <p>(2)輸入 液化天然ガス(35.0%)、電気機器(26.4%) 木製品およびコルク製品(家具を除く)(4.5%) 光学・測定機器(3.8%)、一般機械(3.8%)</p> <p style="text-align: right;">※2017年現在</p>	②																					

3.自治体の活動				出典
自治体交流				
姉妹自治体	県名	自治体名称	提携自治体名	州・省・県等名
	福岡県	福岡市	イポー	ペラ州
	鹿児島県	日置市	スパンジャヤ市	スランゴール州
	埼玉県	三芳町	ペタリンジャヤ市	セラゴール州
	岡山県	笠岡市	コタバル市	ケラタン州
トップセールス実績 (渡航通知ベース)	<p>(2018年)</p> <p>7月 群馬県(説明会、現地進出企業訪問、視察)</p> <p>7月 愛媛県、松山市、砥部市(マレーシアバドミントン協会との基本合意書調印)</p> <p>7月 鹿児島県霧島市(政府機関訪問)</p> <p>8月 山梨県笛吹市(販路拡大、観光PRトップセールス)</p> <p>10月 静岡県袋井市(健康都市連合国際大会出席等)</p> <p>10月 愛知県尾張旭市(健康都市連合国際大会出席)</p> <p>11月 秋田県(企業訪問、情報収集、交流促進)</p> <p>1月 新潟県三条市(市場調査)</p> <p>(2017年)</p> <p>11月 愛知県豊橋市(農産物の販路開拓のための販売プロモーション)</p> <p>2月 富山県富山市(環境未来都市の国際展開事業の実施)</p> <p>2月 福岡県福岡市(「World Urban Forum9(世界都市サミット)」への参加)</p> <p>(2016年)</p> <p>6月 福島県(世界経済フォーラムASEANへの出席)</p> <p>7月 神奈川県(ベナン州を訪問し、共同声明25周年記念事業等に参加)</p> <p>7月 静岡県袋井市(特産品の需用喚起と販路拡大のため関係機関への表敬訪問及び新規商談先の開拓を図る)</p> <p>7月 岡山市・広島市・高松市・松山市(特産品の需用喚起と販路拡大のため関係機関への表敬訪問及び新規商談先の開拓を図る)</p> <p>8月 山梨県(知事によるトップセールス)</p> <p>9月 愛知県(農林水産物の販売促進、エアポートセールス)</p> <p>9月 青森県(輸送サービスの状況調査)</p> <p>10月 山口県(知事トップセールス)</p> <p>10月 北海道深川市(ニーズ調査)</p> <p>10月 香川県(レセプションパーティの開催及び視察)</p> <p>11月 鳥取県(知事トップセールス)</p> <p>11月 和歌山県(知事トップセールス)</p> <p>(2015年)</p> <p>8月 福島県中島村(中島村中学生海外派遣事業)</p> <p>8~9月 千葉県(千葉の魅力発信)</p> <p>9月 関西広域連合/京都府(観光プロモーション)</p> <p>10月 北海道富良野市(観光客誘致促進)</p> <p>10月 滋賀県(「観光と食」のトップセールス)</p> <p>10月 大阪府泉大津市(港湾トップセールス)</p> <p>1月 福岡県(知事トップセールス)</p>			
	JET参加者の数 (2018年7月現在)	1名	ALT 0名 CIR 1名 SEA 0名	累計 0名 累計 6名 累計 1名
JETAA支部	-			⑥

クレー関連事業	<p>●地域間交流促進プログラム 2016年 シンガポール、マレーシア 2014年 マレーシア(クアラルンプール、ジョホールバル)</p> <p>●地方行政セミナー 2017年 マレーシア北大学(ケダ州) 2015年 マレーシア理科大学(ペナン)、クアラルンプール市役所 2014年 マレーシア北大学(ケダ州)</p> <p>●日本ふるさと名産食品展 2018年 マレーシア(クアラルンプール) 2017年 マレーシア(クアラルンプール)</p> <p>●専門家派遣事業 2017年 マレーシア(クアラルンプール) 京都府 2016年 マレーシア(クアラルンプール) 千葉県千葉市 2014年 マレーシア(クアラルンプール) 大分県別府市</p>	
---------	---	--

4.その他渡航情報		出典
入出国	90日以内の滞在であればビザは不要	
旅券の残存期間	入国時6か月以上	
日本との時差	-1時間	
祝日(2019年)	2月5日(火)～6日(水) チャイニーズ・ニュー・イヤー(旧正月) 5月1日(水) メーデー 5月19日(日) ウェサック・デー(釈迦誕生祭) 6月5日(水)～6日(木) ハリ・ラヤ・プアサ(断食明け大祭) 8月11日(日)～12日(月) ハリ・ラヤ・ハジ(犠牲祭) 8月31日(土) 国家記念日 9月1日(日) イスラム暦正月 9月9日(月) 国王誕生日 9月16日(月) マレーシア・デー 10月27日(日) ディーパバリ 11月9日(土) ムハンマド誕生祭 12月25日(水) クリスマス	
予防接種の必要性	A型肝炎、B型肝炎、破傷風、(日本脳炎*1) *1: マレーシアで、クアラルンプールなどの主要都市以外へ長期滞在する場合は推奨。	⑧
気候	熱帯気候	
電話の掛け方	国際電話会社の番号+60(国番号)+最初の0を取った電話番号	
電力	電圧は240V、50ヘルツ、コンセントは三つ穴のBFタイプが多く、日本の電化製品を使用する際は変圧器と変換プラグが必要	
水道水	水道水は避ける。ミネラルウォーターを飲用した方がよい	
日本からのフライト時間	直行便で約7時間10分(東京～クアラルンプール)	

【出典】

- ①外務省HP <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/malaysia/index.html>
- ②JETROHP [https://www.jetro.go.jp/world/asia/my/basic\\_01.html](https://www.jetro.go.jp/world/asia/my/basic_01.html)
- ③JNTO [https://www.jnto.go.jp/jpn/inbound\\_market/index.html?tab=block1](https://www.jnto.go.jp/jpn/inbound_market/index.html?tab=block1)
- ④在マレーシア日本国大使館HP [http://www.my.emb-japan.go.jp/itrtop\\_ja/index.html](http://www.my.emb-japan.go.jp/itrtop_ja/index.html)
- ⑤人口ピラミッド <https://www.populationpyramid.net/malaysia/2017/>
- ⑥JETHPより <http://jetprogramme.org/ja/>
- ⑦農水省資料 [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/nousui/kyouka\\_wg/dai10/siryou4\\_b1-6.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/nousui/kyouka_wg/dai10/siryou4_b1-6.pdf)
- ⑧厚生労働省検疫所HP [http://www.forth.go.jp/destinations/country/malaysia\\_singapore.html](http://www.forth.go.jp/destinations/country/malaysia_singapore.html)